広報
さめがわ
昭和56年
10月号
No. 334
編集兼発行
鮫川村役場
塙町佐藤印刷所

中学校駅伝競争で鮫川中第一位



今年の東白川郡中学校生徒の駅伝競争は、鮫川村山村開発センター下をスタート・ゴール地点として、中野、西野地内県村道折返しコースで行われました。

参加チームは7チーム、延長32.2kmを力走しました。

結果は男子鮫川中Aが1時間57分2秒で第一位。塙中Aが2時間1分45秒で第二位。棚倉中A第三位の順でした。

女子は棚倉中Aが第一位で、鮫川中は第三位でした。

鮫川中の駅伝の強さは伝統的なもので、毎日急坂を上り下りする生活習慣と、根気強い村民性がその基盤にあるものといわれております。

- ⊙ 10月1日～31日　体力つくり強調月間
- ⊙ 10月1日～12月31日　共同募金運動
- ⊙ 10月27日　林野火災防禦訓練

今月の人口

（10月1日現在）

		前月比
人口	5,587	（＋7）
男	2,787	（＋8）
女	2,800	（－1）
世帯	1,137	（－1）

盛大に行われた今年の敬老会







今年の敬老会は９月15日山村開発センターで盛大に行われ、536名の高令者等が出席されました。この日満100歳の高令者鈴木ツルさんも元気な姿でひな壇に着席され、内閣総理大臣の賀状を村長から伝達されました。

青生野小５年の藤田百合子さん、鮫川中１年の白石和良さんの作文朗読にはみんながホロリとさせられました。

村政のあゆみ (30)

真の行政改革を望みつつ

村長　石田卯子八

臨時行政調査会、いわゆる臨調の第一次答申は先に政府に提出され、これに基づいて立案された行革関連特例法案が只今開会中の臨時国会で審議されています。

臨調第一次答申の内容を見ると行政改革の高度の理念や施策は簡単に取り扱われ、緊急に取りくむべきは支出の削減と財政再建であるとして、一般行政費の抑制や削減の方法を重点として述べられています。

行革のねらいは国内的には「活力ある福祉社会の実現」対外的には「国際社会に対する貢献の増大」をあげておりますが、具体的施策は補助金の削減、医療費の適正化、社会福祉における公費負担制度の見直し、公共事業の抑制、農業補助の圧縮などを強く求めているのが目立ちます。

行政の合理化、効率化の方策では、公務員定員の削減を求めており、地方公共団体に対しても国に準じて定員削減や給与の適正化を図ることを求めております。

活力ある福祉社会を実現するために制度や施策を効率化するというよりは、支出削減、財政再建のために、制度や事業を圧縮するという感が強いのであります。

しかしこのようなことも現在の国家財政の実情から、先づ再建が第一であり、苦痛に耐えて実施しなければならないことも理解されるのでありますが、その苦痛が弱者に多くしわよせされ、大きい者より小さい者に負担が転嫁されてはならないのであります。

この中で、地域特例法のかさ上げの廃止または停止は、山村振興法や過疎地域振興特別措置法等の恩恵をうけて、ようやく一定の行政水準に近づいてきた全国弱小町村のため、何としても阻止しなければならないと、熱心な運動が展開されてきました。

それが大きな世論となり、今提案されている行革関連特例法の骨子で「後進地域の開発に関する公共事業にかかわる国の負担割合の特例等に基づき、都道府県もしくは指定都市の行う事業に対する補助のかさ上げ額の六分の一を減ずる」と定められ、市町村が減額の対象から除外されたことは、評価すべき成果であります。

児童手当の所得制限の強化についても、当村の場合一部少数の世帯に止る模様であります。

肥大化した行政の簡素合理化、効率化を目ざす行政改革、国民のコンセンサスによって行われる真の行革の実施に、期待と協力をよせて行きたいものであります。

今月の納税

村県民税（第三期分）
国民健康保険税（第五期分）
国民年金保険料（第三期分）
納期限　一〇月二五日

おめでた

八月
田中　国井　博幸　父国井秋好

九月
道少田　鈴木　明子　父鈴木治男
戸草　松崎　義文　父松崎文男
関下　藤田理恵子　父藤田義人
鬼越　円井　恵美　父円井七蔵
伏木田　小林　大介　父小林　栄
巌ノ草　鈴木　教史　父鈴木和則
道少田　降矢　翔子　父降矢桝美

おくやみ

	年令	世帯主
九月		
青生野	星　俊一	71歳
滝ノ下	蛭田　一	19歳 蛭田義一
落合	我妻　栄吉	62歳 我妻キミイ
中沢	白井　カツ	73歳 白井邦光
新宿	南條　サト	72歳 南條仁孝
折戸	阿久津繁光	75歳 阿久津一二
青生野	笹島　政一	88歳 笹島光儀
福原	高橋　トメ	89歳 高橋チヨ

市町村別交通事故防止コンクール　Cグループ（人口１万人未満町村）50町村中第45位

新しい教育長に
矢部元良（やべげんりょう）さん
教育委員長に芳賀洋郎さん

この度教育長の任期満了により、一〇月一日付で新しい教育長に矢部元良さんが任命されました。

矢部教育長さんは、湯座弥重郎前教育長の後任として、村議会の同意を得て教育委員に任命され、次いで教育委員会の会議で教育長に選任されました。

前教育長の湯座さんには、長い間本村の教育行政に尽力され、たいへんご苦労様でした。

また教育委員会の構成が次のようにかわりました。

委員長　芳賀洋郎
職務代理者　矢吹啓松
委員　芳賀光子
委員　生田目幸治郎
教育長　矢部元良



鮫川村の出身で、学校長経歴の教育長として数々の功績を残された湯座弥重郎さんは、一身上のご都合で一期4年の任期満了の機会に退任されました。

10月1日には教育委員、教育委員会職員、役場職員全員が役場前庭に集り、別れを惜しみました。

紹介　新しい村政モニター

村政モニターの制度は、広く村民の声を聞き、それを村政に反映させ、健康で明るい豊かな村づくりを進めるため設けられているものです。

今年度の村政モニターは、各行政区長の推せんにより、九月一日付で各階層別に次の方々が委嘱されました。

【赤坂西野】▽増子義兄（農林）▽石井政夫（農林）▽鈴木昭二（販売）▽植村実（商工）▽高坂充子（主婦）

【西山】▽関根政隆（農林）▽本郷公市（農林）▽関根一好（商工）▽関根啓太郎（技能）▽緑川ウラ子（農林）

【赤坂中野】▽鈴木輔司（農林）▽宗田美津枝（商工）▽鈴木和光（販売）▽矢吹孝子（技能）▽青木正博（自由）

【赤坂東野・石井草】▽宗田セキ（主婦）▽岡部豊（農林）▽舟木忠光（販売）▽鈴木次男（技能）▽森亨（農林）▽水野洋子（商工）

【富田】▽白井邦光（農林）▽松本恵治（商工）▽鈴木一（販売）

【渡瀬】▽蛭田祐子（事務）▽芳賀昇一郎（商工）▽津田彰夫（自由）▽芳賀登（農林）

【青野野】▽加藤憲治（農林）▽鈴木清孝



戦没者追悼式が多数の遺族来賓をお迎えして、九月二二日山村開発センターでしめやかに行われ、また遺族会主催の慰霊祭が引続き挙行され、戦争で亡くなられたみ霊の瞑福をお祈りしました。

第34回鮫川村文化祭
11月20日(金)～22日(日)

就任にあたって

鮫川村教育委員会教育長
矢部　元良（やべげんりょう）



この度、鮫川村教育委員会教育長に任命されました。

教育委員会は村が処理する教育事務即ち教育機関を設置し管理しその運営全般にわたつて配慮し、法律政令に定められた事務を管理執行する合議制の執行機関であります。

教育は長期の計画のもとに一貫した方針で行われるべきであり、それを管理する教育行政もまた一貫性、安定性が望まれるのは当然であります。

鮫川村教育委員会は昭和五二年度に教育振興五か年計画が策定されて「豊かな人間性と自主性にみちた健康な人間形成を目指す生涯教育の推進」を目標におし進められて参りました。

この目標達成のため、小中学校の教育は生涯教育の基礎を培うため、それぞれの学校段階において生涯にわたって学習を続けるために必要な意欲や能力の育成を図り発達に応じて将来の生き方についての指導を充実するよう努力していきたいと思います。

社会教育については生涯教育の観点から一層その重要性を増しつつあり人々の生涯の各時機における学習の機会を更に拡充して行きたいと考えております。

公民館（山村開発センター）、県下に誇る歴史民俗資料館の整備と高度な活用化を企図し、併せて個人学習など新しい分野や方法の開発も進めていきたいと思います。

教養、趣味、健康、スポーツ、家庭生活に関することなど、社会における多様な教育、学習の機会を拡充することに万全の努力を傾けることに微力ではありますが、真剣に、献身的に、精進したいと思いますので御指導と御協力をお願い致します。

現住所＝大字赤坂中野字道少田二

新任の矢部元良教育長さん。先生は須賀川市川東のご出身で、福島師範第一部卒業後、諭田小学校長、蓬田中学校長を経て塙中学校長など16年の校長経験をお持ちの教育専門家です。

鮫川村の要請により教育長としてその手腕を発揮されることになりました。

村内の交通事故　（9月30日現在）　発生11件　・　死亡2人　・　負傷者13人

昭和55年度決算状況

一般会計歳出　18億7,972万円

昭和五五年度歳入歳出決算は、特別会計が八月二七日の臨時村議会で認定され、一般会計は九月二七日の定例村議会で認定されました。主な内容は次のとおりです。

決算収支の状況

昭和五五年度の決算額は、歳入総額一九億一、六七七万二、八二六円、歳出総額一八億七、九七二万八、六三七円となり、歳入歳出差引額は、四、七〇四万四、一八九円となりました。

これを前年度に比較しますと、歳入で三億二、七七四万八、七四七円（二〇、五%）、歳出で三億七五八万八、九七三円（一九、六%）の増加であります。このような対前年度の伸びは、鮫川小学校増改築事業、歴史民俗資料館建設事業、新農業構造改善事業等を実施し、更に夏期の異常低温による冷害対策事業を行ったためです。

決算収支の状況は、別表一のとおりです。

歳入決算の状況

歳入決算の内訳は、別表2のとおりで、全体的に見ると、分担金及び負担金が前年度より四七四・二%伸びています。

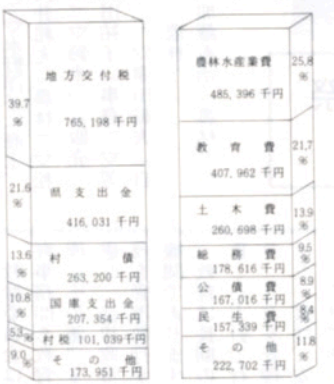
これは、阿武隈山系開発事業が終了し、その事業費の償還が始まったことによるものです。また県支出金の一一七・八%の伸びは、電源立地促進対策交付金の交付、及び新農業構造改善事業、林業総合整備事業、冷害対策事業等の交付金及び補助金の増額によるものです。国庫支出金は一五・九%の減ですが、鮫川小学校増改築事業費国庫負担金の減少によるもので単独建築面積分の財源は、基金の繰入金を充当しています。

自主財源の決算額に対する割合は一二・三%、対前年比は四六・五%増となったが、これは阿武隈山系開発事業費償還、鮫川小学校増改築事業費繰入金等の増加によるものです。

村税は構成比で五・三%、対前年比で一一・三%の伸びを示していますが、いずれも冷害等による影響で前年度に比べて落ち込んでいます。

これらの事情から、自主財源の割合が高くなり伸びが大きくなってきてはいますが、実質的な財政力は、かえって伸び悩みの状況にあるといえます。

図1　決算状況



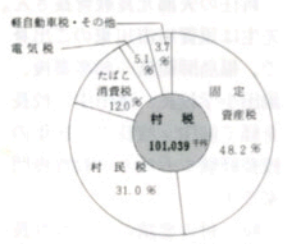
別表1　決算収支の状況

区分	昭和54年度	昭和55年度
	千円	千円
歳入総額 (A)	1,599,024	1,926,773
歳出総額 (B)	1,572,140	1,879,729
歳入歳出差引額 (C)=(A)-(B)	26,884	47,044
翌年度へ繰り越すべき財源 (D)	2,309	5,315
実質収支額 (E)=(C)-(D)	24,575	41,729
単年度収支額 (F)	△964	17,154
積立金 (G)	15,510	17,491
積立金繰出処分額 (H)	10,000	
実質単年度収支額 (I)=(F)+(G)-(H)	4,546	34,645

別表2　歳入決算の状況

区分	決算額（千円）	構成比(%)	対前年比(%)
自主財源	236,543	12.3	46.5
村税	101,039	5.3	11.3
分担金及び負担金	30,561	1.6	474.2
使用料及び手数料	13,631	0.7	3.9
財産収入	10,450	0.5	54.6
寄附金	845	−	△1.7
繰入金	40,000	2.1	300.0
繰越金	26,885	1.4	5.3
諸収入	13,132	0.7	44.1
依存財源	1,690,230	87.7	17.6
地方譲与税	24,632	1.3	8.1
自動車取得税交付金	13,815	0.7	△8.8
地方交付税	765,198	39.7	9.1
交通安全対策特別交付金	−	−	△100.0
国庫支出金	207,354	10.8	△15.9
県支出金	416,031	21.6	117.8
村債	263,200	13.6	1.1
計	1,926,773	100.0	20.5

村税の構成



歳出決算の状況

歳出決算の内容及び状況は、別表三及び図2のとおりであります。

目的別決算の状況を見ると、農林水産業費二五・八%、教育費二一・七%、土木費一三・九%の順となっており、伸び率が高いのは、商工費五八・七%、農林水産業費四三・四%、土木費三六・九%となっています。

性質別決算の状況を見ると、義務的経費については、構成比三一・七%、伸び率一一・八%となり前年と同程度になりました。人件費、扶助費において、構成比、伸び率ともに昨年を下まわっているが、公債費は伸び率において、昨年度の伸び率を五・一ポイント上昇し、二四・七%と伸びています。

これは、借入額の大きな過疎対策事業債の償還額が、現在累積段階にあることと、遅れている道路、交通網の整備と、公共施設の整備を促進するための借入額の増によるものですが、この償還については歳入の地方交付税の基準財政需要額に五〇・九%が算入されております。

投資的経費については、全体の四九・七%を占めており、そのほとんどが普通建設事業費であります。普通建設事業費の内補助事業費で六四・〇%、単独事業費で四四・七%の伸びとなりました。

補助事業費の伸びは、新農業構造改善事業、歴史民俗資料館建設事業、林業総合整備事業等、また単独事業費の伸びは、鮫川小学校増改築事業の補助対象外面積分、阿武隈山系開発事業等の執行が大きな要因となっています。

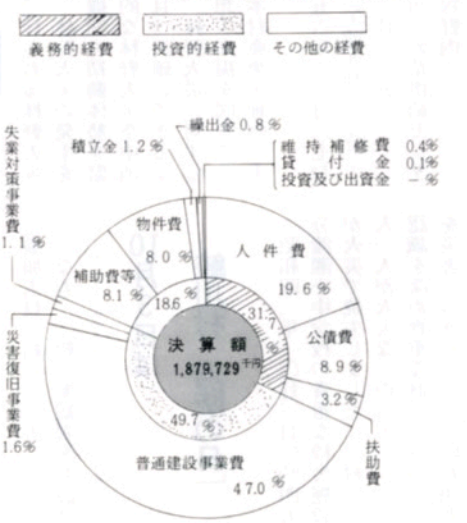
その他の経費については、構成比が一八・六%、伸び率九・五%といずれも前年度を下まわりました。特に物件費の伸び率は昨年度の一七・七%に対し、六・一%と一一・六ポイントも下まわっています。

本年度決算のひとつの特徴は、投資的事業に高率の財源を充当したために、人件費及びその他の経費の比率が低下した点であります。

別表3　歳出決算の状況（目的別）

区分	決算額(千円)	構成比(%)	対前年比(%)
議会費	42,449	2.3	3.6
総務費	178,616	9.5	4.5
民生費	157,339	8.4	3.3
衛生費	45,326	2.4	2.0
労働費	32,124	1.7	18.0
農林水産業費	485,396	25.8	43.4
商工費	7,640	0.4	58.7
土木費	260,698	13.9	36.9
消防費	64,073	3.4	13.0
教育費	407,962	21.7	10.0
災害復旧費	31,090	1.6	△ 24.1
公債費	167,016	8.9	24.7
計	1,879,729	100.0	19.6

図2　性質別歳出状況



国民健康保険特別会計

事業勘定

歳入

区分	決算額	構成比
国民健康保険税	57,960,060円	21.0%
使用料及び手数料	9,140	—
国庫支出金	194,558,039	70.4
県支出金	130,000	0.1
財産収入	2,777,668	1.0
繰入金	18,293,719	6.6
繰越金	1,641,000	0.6
諸収入	865,637	0.3
計	276,235,263	100.0

歳出

区分	決算額	構成比
総務費	11,021,492円	4.0%
保険給付費	251,937,742	92.3
保健施設費	134,550	0.1
基金積立金	2,777,668	1.0
諸支出金	7,158,492	2.6
予備費	0	0
計	273,029,944	100.0

直診勘定

歳入

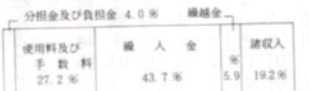
区分	決算額	構成比
診療収入	36,718,231円	75.6%
使用料及び手数料	133,220	0.3
繰入金	10,023,625	20.6
繰越金	1,505,872	3.1
諸収入	176,972	0.4
計	48,557,920	100.0

歳出

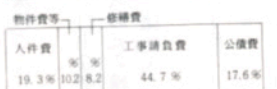
区分	決算額	構成比
総務費	27,787,236円	64.5%
医業費	14,515,969	33.7
施設整備費	234,300	0.5
公債費	532,372	1.3
予備費	0	0
計	43,069,877	100.0

簡易水道事業特別会計

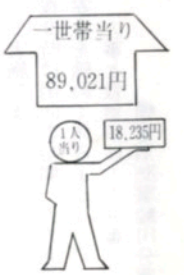
歳入（15,841,959円）



歳出（13,901,009円）



村税の負担状況



秋晴れの空のもと 消防団秋季検閲









10月３日の消防の日に、恒例の鮫川村消防団秋季検閲が行われました。この日はすばらしい秋晴れで、320名の団員が出場し、厳正な規律のもと、街頭行進から通常点検、規律訓練、閲団に至るまでキビキビした動作で進められ、近年にない立派な成績と講評がありました。

また第５分団の小型ポンプ、第１分団のポンプ自動車の模範操法が披露され、終って畜産センター前で勇壮な水勢競技が行われました。



鮫川村消防団に初めてラッパ隊が誕生し、秋季検閲の当日みごとな吹奏で団員の志気を鼓舞しました。

陸上自衛隊ヘリコプターも参加

鹿角平で林野火災防禦訓練

一〇月二七日　午前九時三〇分

訓練現場略図



県等の主催で行われる林野火災防ぎょ訓練は、林野火災の発生を想定し、消防機関の初動体勢を緊密にし、総合的な林野火災空中消火活動が迅速且つ的確にできるよう訓練を行い、林野火災に対する県民の防火思想の高揚を図ることを目的として本村鹿角平地内で実施されます。

ときと　昭和五六年一〇月二七日（火）午前九時三〇分～午後一時三〇分

ところ　鹿角平乾草供給センター牧野内

主催　福島県、鮫川村、白河地方広域市町村圏整備組合

訓練項目

○地上訓練
○空中消火訓練
○たき出し訓練

参加人員　約六〇〇人

なお、一般の参観者席も設けますのでご参観下さい。

10月3日は 鮫川村「消防の日」

昭和四一年一〇月三日〇時四五分渡瀬小中学校の貴重な校舎施設が火災で焼失しました。「村民一人一人が火災などの災害について認識を深め貴重な財産と尊い生命を災害から守ろう」と、昭和四五年「消防の日」を定め、鮫川村消防団秋季検閲が行われるようになりました。

農繁期を迎え忙しい毎日が続き家を留守にする日が多くなります。これからは異常乾燥の日が長く続き北よりの風も強く火災発生のシーズンを迎えるので次のことに注意しましょう。

○家族（特に身体の不自由な老人子供）を残す時は火の元の確認をしっかりとして、隣近所にも一声かけましょう。
○マッチやライターは子供の手のとどかない所におきましょう。
○暖房器具は使用前に必ず点検整備のうえ使用しましょう。
○屋外での焚火は必ず消防署に届けて実施しましょう。
○夜９時は消防の時間、火の元の安全を確めて休みましょう。

火事と救急車は119番

棚倉消防署鮫川分署

秋たけなわの運動会シーズン

小学校連合運動会
大会新記録が二〇個

村内小学校六校の三年生以上の児童による連合運動会が、九月三〇日午前九時半から、村民運動場で開かれました。

この運動会は、各小学校児童相互の友愛と親睦を図るとともに、体力及び技能の向上を目的に、毎年開かれているものです。

この日は絶好の運動会日和に恵まれ、大会新記録が二〇個も飛び出すなど、日頃の訓練と実力が十分に発揮されました。

成績は次のとおり。

◇一〇〇㍍▽三年男子①諸橋孝吉（鮫川）17秒2②羽田浩幸（同）③中島武夫（青生野）▽同女子①宗田幸枝（鮫川）17秒9②大平薫（富田）③芳賀亜子（渡瀬）▽四年男子①大河内光浩（鮫川）15秒9＝大会新②水野美幸（同）③市川正人（西山）▽同女子①芳賀里美（鮫川）17秒5②青戸さち子（富田）③北条邦子（西野）▽五年男子①矢吹和夫（鮫川）16秒7②鈴木照美（西野）③中川西正（鮫川）▽同女子①石井樹美代（富田）16秒4②鈴木聡子（鮫川）③高野伸子（西山）▽六年男子①青戸寿之（富田）15秒4②国島武人（鮫川）③田子進市（同）▽同女子①水野玲子（西山）16秒3②金沢悦子（鮫川）③矢吹さおり（同）◇四〇〇㍍▽四年女子①芳賀里美（鮫川）1分25秒8②芳賀かおり（同）③芳賀幸恵（渡瀬）◇六〇〇㍍▽四年男子①湯座仁志（鮫川）2分11秒3＝大会新②松崎孝幸（西山）2分12秒7＝同③斉須大（鮫川）▽五年女子①岡部清代枝（鮫川）2分6秒2＝大会新②斉藤由美子（西山）2分13秒3＝同③酒井安代（鮫川）◇八〇〇㍍▽五年男子①鈴木照美（西野）2分54秒7＝大会新②中島三男（青生野）③矢吹和夫（鮫川）▽六年女子①生田目薫（富田）3分7秒8②鈴木久美子（鮫川）③高坂香（西野）◇一、〇〇〇㍍▽六年男子①蛭田忠雄（鮫川）4分38秒7②小松隆（同）③関根孝雄（西山）◇八〇㍍ハードル①薄葉正勝（西野）16秒6＝大会新②前田功（鮫川）16秒8＝同③矢吹浩善（同）17秒3＝同▽同女子①斉藤由美子（西山）17秒0＝大会新②藤田百合子（青生野）17秒2＝同③増子恵美子（西野）17秒3＝同④鈴木聡子（鮫川）17秒4＝同▽六年男子①松本崇（富田）16秒9②松本健一（鮫川）16秒9③水野哲夫（同）▽同女子①松崎夏枝（西山）16秒1②中川西りつ子（鮫川）③吉成光子（青生野）◇四〇〇㍍リレー▽男子①鮫川A1分3秒5②富田③鮫川B▽同女子①西山1分7秒8②鮫川A③鮫川B◇走り幅跳び▽三年男子①諸橋孝吉（鮫川）3㍍41②羽田浩幸（同）③山形由紀（渡瀬）▽同女子①宗田幸枝（鮫川）3㍍②舟木美和子（西山）大平薫（富田）▽四年男子①大河内光浩（鮫川）3㍍82②湯座諭（同）③市川正人（西山）▽同女子①芳賀さゆり（渡瀬）3㍍27②青戸さち子（富田）③鈴木直美（鮫川）▽五年男子①薄葉正勝（西野）3㍍58②中島三男（青生野）③湯座幹雄（鮫川）▽同女子①前田真澄（鮫川）3㍍66＝大会新②石井樹美代（富田）3㍍57＝同③阿久津久美子（西山）▽六年男子①松本健（富田）4㍍7②矢吹好明（鮫川）③石井正彦（西野）▽同女子①松崎夏枝（西山）3㍍74②矢吹かおり（西野）③吉成光子（青生野）◇走り高跳び▽五年男子①前田功（鮫川）1㍍15②須藤康夫（同）③関根英樹（西山）▽同女子①岡部清代枝（鮫川）1㍍13②鈴木トモ子（西野）③藤田君江（渡瀬）高木真知子（西山）酒井安代（鮫川）▽六年男子①松本崇（富田）1㍍18②蛭田末男（鮫川）③蛭田忠雄（同）▽同女子①水野玲子（西山）1㍍10②矢吹さおり（鮫川）③西戸明美（富田）◇ソフトボール投げ▽五年男子①前田功（鮫川）39㍍17②鈴木照美（西野）③関根英樹（鮫川）▽同女子①一ノ渡美香（渡瀬）40㍍17＝大会新②鈴木トモ子（西野）39㍍＝同③矢吹ゆかり（鮫川）34㍍43＝同▽六年男子①小松隆（鮫川）53㍍32＝大会新②鷲野谷博則（富田）③蛭田郁夫（渡瀬）▽同女子①岡部司代（青生野）32㍍70②水野玲子（西山）③湯座直美（鮫川）









上から、村内小学校連合運動会の入場行進。次は6校の校旗にかこまれて選手宣誓。

続いて鮫川保育所の子供さんたちのたのしいお遊戯。下は鮫川幼稚園の運動会で親も子も一緒の大きな踊りの輪。



参加しよう 共に考えよう 北方領土返還要求のつどい

一一月五日（木）県文化センターで「第一三回北方領土返還要求のつどい」が開催されます。

歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の北方領土は我が国の固有領土です。戦後三六年間、ソ連に占拠されている北方領土返還を実現するため、政府はねばり強い外交交渉を進めています。

北方領土返還要求運動の全国的な盛り上がりを期するために、多くの県民の皆さんの「つどい」参加をお待ちしています。

◇主催　総理府、北海道、北方領土をとりもどす福島県各界連絡会議

◇日時　一一月五日（木）午後一時～午後三時三〇分

◇場所　県文化センター

◇行事内容　北方領土元居住者の訴え、県民代表の決意表明、返還要求アピール、アトラクションなお併催行事として、北方領土展が一一月五日～一〇日まで、福島市のサンキョウ福島総本店で行われます。

（総理府）

10月11日～20日 全国防犯運動

カギかけは 家族みんなの 合言葉

行楽の秋。家族そろって出かける機会も多くなりますが、留守宅のカギはかかっていますか。

全国平均でみますと、約1分50秒ごとに、一般住宅や事務所、店舗などが、いわゆる侵入ドロボウの被害にあい、一件当たり約一〇万円の損害を被っています。

また昨年一年間の被害件数約二九万件のうち、約六割を一般住宅が占めています。

一〇月一一日から二〇日まで、「全国防犯運動」が行われます。この機会にもう一度、わが家の防犯チェックをお忘れなく！

家庭の防犯四か条

◆出かけるときは必ずカギをかけましょう。

◆玄関にはCPマーク付のカギを

◆◆隣り近所で防犯体制を

◆長く家をあけるとき、新聞などは配達中止を





10月1日の統一祭礼はあいにくの小雨模様でしたが、商工会青年部のみこしがねり歩き、熊野神社では恒例の青年相撲が行われて終日にぎやかでした。

講演会開催のお知らせ

成人病の恐ろしさと日常の健康管理「糖尿病を中心として」と題して、東北大学医学部第３内科教授、後藤由夫先生の講演会が次により開催されます。多数受講されるようお知らせします。

日　時　10月26日　午後１時30分
場　所　塙町大町　すみれ会館
主　催　塙厚生病院後援会









交通事故の防止は大きな社会問題となっています。秋の交通安全運動期間の行事として、交通安全協会鮫川分会と交通安全母の会では、テント村作戦を展開。開発センター入口で棚倉警察署と協力して車や通行人に交通安全を呼びかけ、効果をあげました。

交通安全をよびかけるパレードが、交通安全協会鮫川分会の役員の皆さんや、鮫川小学校鼓笛隊 100名の児童の皆さんで盛大に行われ、広畑から新宿、鮫川小学校の間を街頭行進しました。

職業訓練生募集

◇建築科　30名（養成訓練生のみ）
◇左官科　30名（養成訓練生20、転職者10）

▷応募の手続き◁

○応募資格　中学校・高等学校卒業者（卒業見込者含）及び転職者
○願書受付　昭和56年11月２日～昭和56年11月25日
○試験期日　昭和56月11月27日
○試験科目　国語、数学、社会
○合格発表　昭和56年11月30日

くわしくは石川職業訓練校（☎02472-6-3232）へおたずね下さい。

自衛官募集中

お問い合わせは
村役場総務課へ